

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名	こころの相談事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 坂本みゆき
	基本事業	44	病気の早期発見	所属班	健康推進班	(内線) 2167
				法令根拠	精神保健福祉法	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	4	1	1	10365			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 12 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
毎月1回精神科の医師による相談事業。
①広報誌・健康づくり事業計画表でお知らせしている。電話や来所予約制・本人はもちろん家族等の相談も受けます。
【業務の流れ】
電話や窓口相談からこころの相談へ紹介されて、相談を受けに来られることが多い。相談者と協議後、日程・時間を決定し予約。相談終了後、相談者と相談後の感想、今後の方向性や医師からのアドバイスの内容を話し合い、悩みや不安の解消に努める。
【主な予算費目】
報酬・費用弁償

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	原則月1回の実施。ただし、定期的相談日以外に対応必要な相談に対し、医師と日程相談の上、10回程対応予定	
12回 15人に実施		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	→ ア 相談回数	回
	→ イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
こころの悩みを抱えて相談にきた人	→ ア 相談者数	人
	→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
こころが元気になる。適切な医療につながる。今の状況を改善するきっかけになる。	→ ア 受診をすすめた人の数	人
	→ イ 相談を受けて元気がなった人の割合	%
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
病気を早期に発見できる。	→ ア 医療機関受診率	%
	→ イ	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	266	377	244	244	489	489	489	
	(A) 事業費計	千円	266	377	244	244	489	489	489	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	人	1	1	1	6	1	1	1	
正規職員従事人数	時間	545	545	545	400	450	450	450		
延べ業務時間	千円	2,164	2,169	2,169	1,592	1,791	1,791	1,791		
(B)人件費計	千円	2,430	2,546	2,413	1,836	2,280	2,280	2,280		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,430	2,546	2,413	1,836	2,280	2,280	2,280		
活動指標	ア イ	回	16	17	22	12	22	22	22	
対象指標	ア イ	人	20	23	30	15	30	30	30	
成果指標	ア イ	人 %	5 84	6 91	6 100	2 86	6 100	6 100	6	
上位成果指標	ア イ	%	38.9	36.9	45	31.4	49	55	22 年度	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成14年度より、今まで県で行っていた精神保健に関する事業の一部が市町村の仕事となるに伴い、相談事業を現在より強化する目的で保健師のみの対応から専門医もスタッフに含めた体制とした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
旧合志町ではじめての事業であるが、合併に伴い合志市でも継続事業とした。相談者数は増加しているわけではないが病院までまだ行けないと思っている人また対応に困っている家族への支援に役目を果たしている事業である。産後の育児に伴う不安や悩みは、増加傾向である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
まだ、事業を知らない人も多いが、通常連携をとっている関係機関から紹介されることもあるようになった。

事務事業名	こころの相談事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ こころを元気にする事業であるので結びついている
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ こころのきつさの対応は、適切な医療のアドバイスにもつながることである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状で適切である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ こころの相談についての周知方法について検討を必要とする。広報・健康づくり事業計画表のみならず、多くの機会を捉える必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 対応に困っている家族の相談が多い現状では、身近な第一次の相談機関がなくなるといことは影響がある
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はない <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 医師の報酬、費用弁償については、市で決まっているのでこれ以上の削減余地はない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事務に係る時間数も最小限で行っておりこれ以上の削減余地はない 保健師という専門職が対応することが大事な事業である
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 相談を受けたい人を対象にしているので、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、こころの相談についての周知方法について検討を必要とする。広報・健康づくり事業計画表のみならず、多くの機会を捉える必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 広く健康づくり事業計画表及び広報等での周知を継続し、関係機関や関係課との連携を強化し、対応困難な事例についても相談してもらうよう周知する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

うつ病や自殺、DVなど社会問題と相まって、日々悩んでいる住民の方もおられる状況では、こころの支援として今後も継続することで、周知を広めることもできるのではないか？気軽に相談できる場としての位置付けを確立したい。多くの事業の機会を捉えて周知に努める。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	2	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)